

2011年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

2.進学理由について

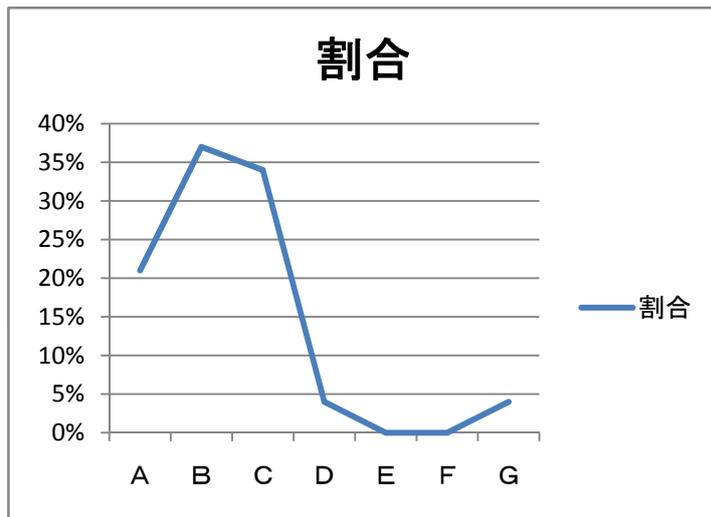
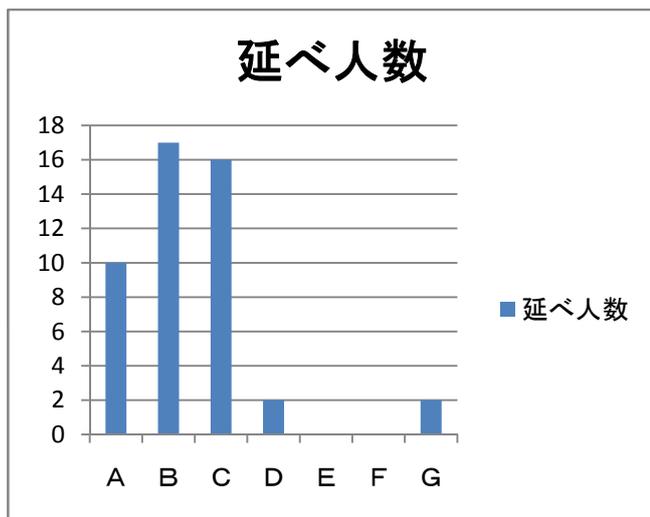
*複数回答

項目	延べ人数	割合	内容
A	10	21%	現在の仕事に関して、より専門知識を身に付けるため
B	17	37%	興味・関心のある分野の勉強がしたくなったから
C	16	34%	資格取得のため(税理士試験科目免除、臨床心理士国家試験受験資格、教員専修免許等)
D	2	4%	大学院卒業という学歴が欲しいから
E	0	0%	将来に不安を感じたから
F	0	0%	時間に余裕が出来たから
G	2	4%	その他

G:理由

地文M1ここでしか学べない事があるから。

地文M2教授が魅力的だったため。



3. 進学するにあたり、どこで情報を得たか

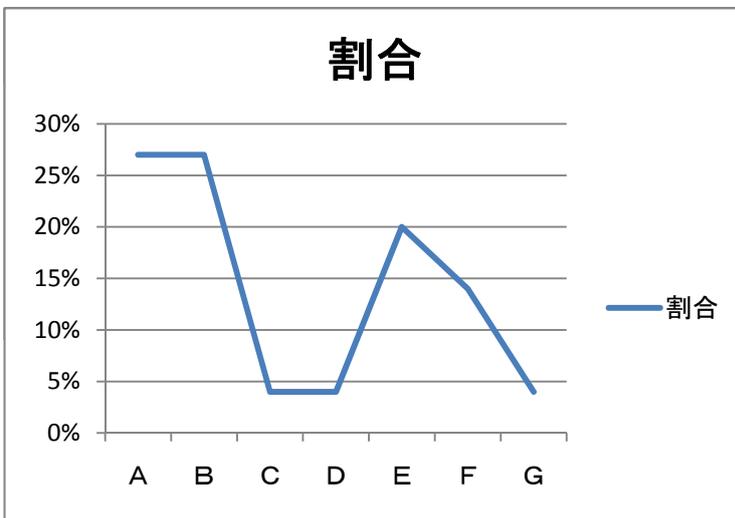
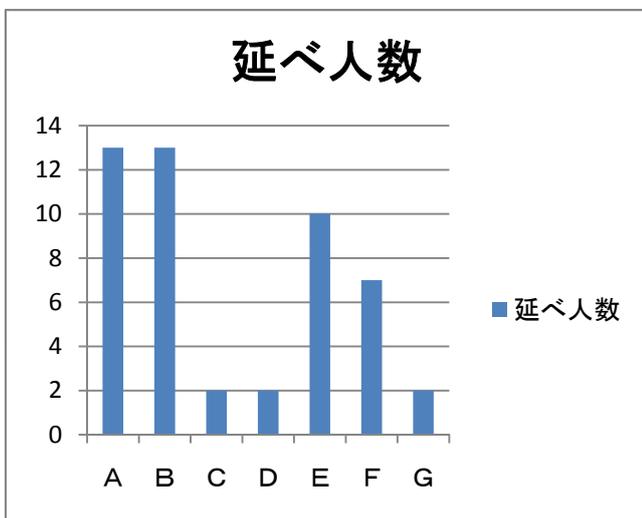
*複数回答

項目	延べ人数	割合	内容
A	13	27%	学部の指導教員
B	13	27%	先輩
C	2	4%	学内での説明会
D	2	4%	オープンキャンパス
E	10	20%	大学院パンフレット
F	7	14%	本学ホームページ
G	2	4%	その他

G:理由

法学M1職場の同僚

法学M2直接、大学院へ電話にて問い合わせ。



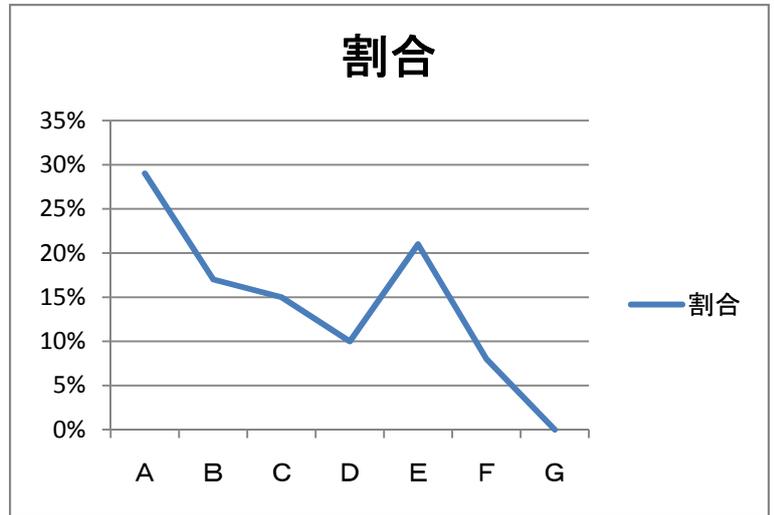
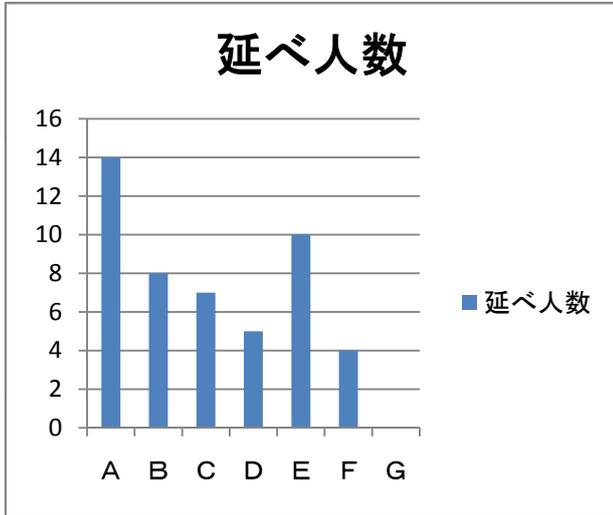
2011年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

4. 研究について

①研究内容

*複数回答

項目	延べ人数	割合	内容
A	14	29%	理論的研究
B	8	17%	調査・インタビュー・実験を用いる研究
C	7	15%	二次資料・史料の収集や整理を伴う研究
D	5	10%	課題の発見に関する研究
E	10	21%	課題の解決を目指す研究
F	4	8%	実践的応用に関する研究
G	0	0%	どれにもあてはまらない



②研究の傾向

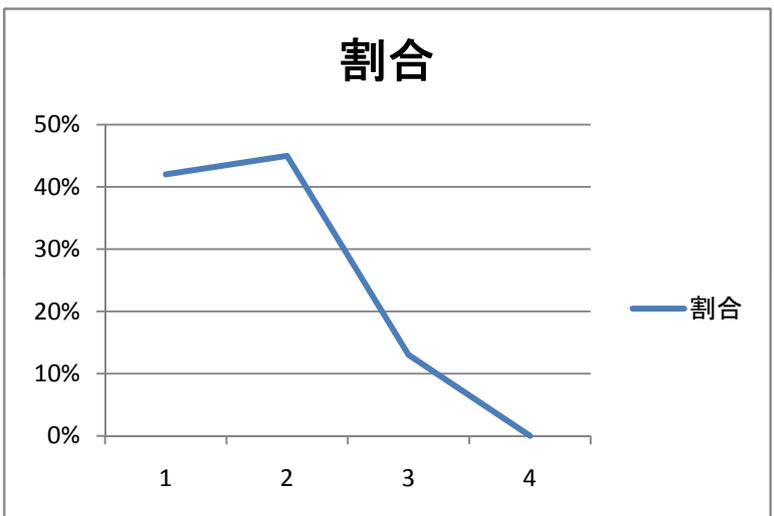
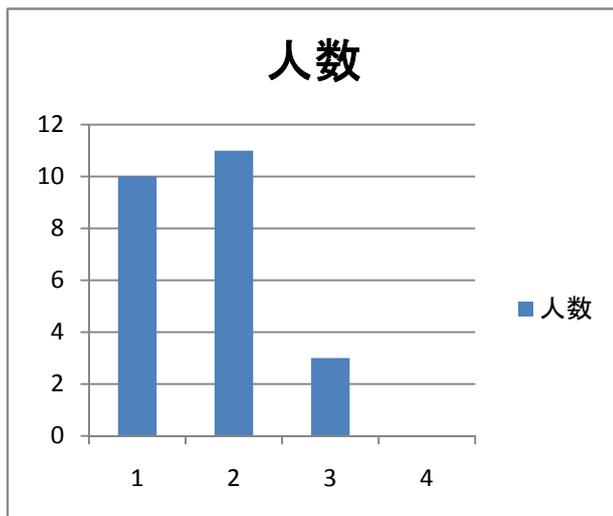
I. 研究テーマ・内容

※未回答:1名

項目	人数	割合	内容
1	10	42%	Aにあてはまる。
2	11	45%	ややAに近い。
3	3	13%	ややBに近い。
4	0	0%	Bにあてはまる。

* A: 研究のテーマ内容が明確である。

* B: 研究のテーマ内容は、まだ明確に決まっていない。



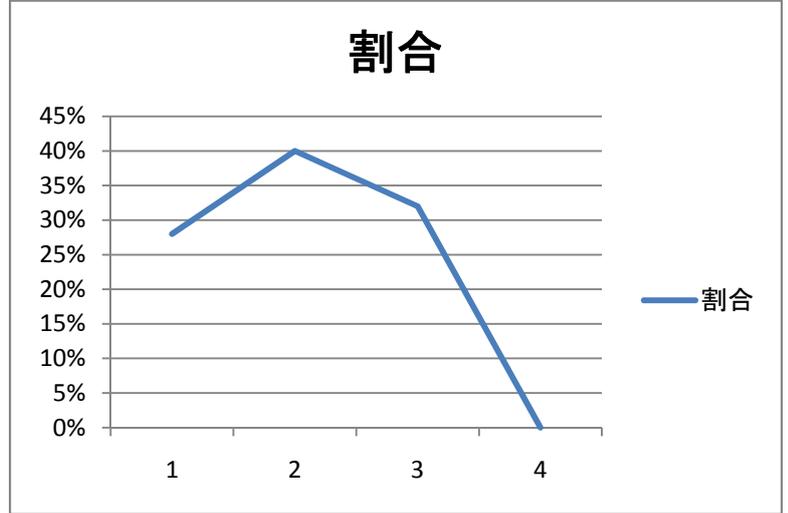
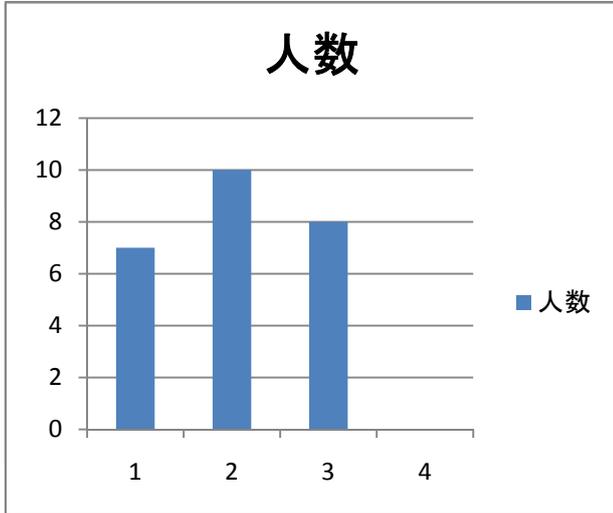
2011年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

Ⅱ.研究の独自性

項目	人数	割合	内容
1	7	28%	Aにあてはまる。
2	10	40%	ややAに近い。
3	8	32%	ややBに近い。
4	0	0%	Bにあてはまる。

* A: 研究の独自性(オリジナリティ)を意識しながら、研究を行っている。

* B: 独自性(オリジナリティ)は意識せずに、研究を行っている。



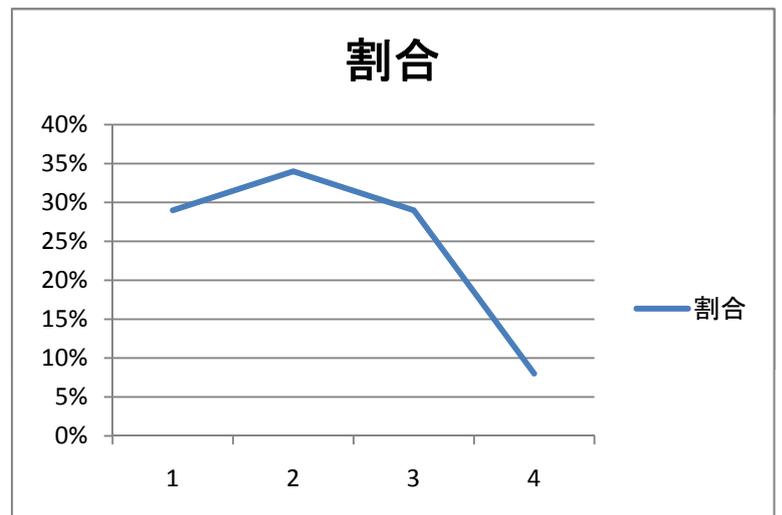
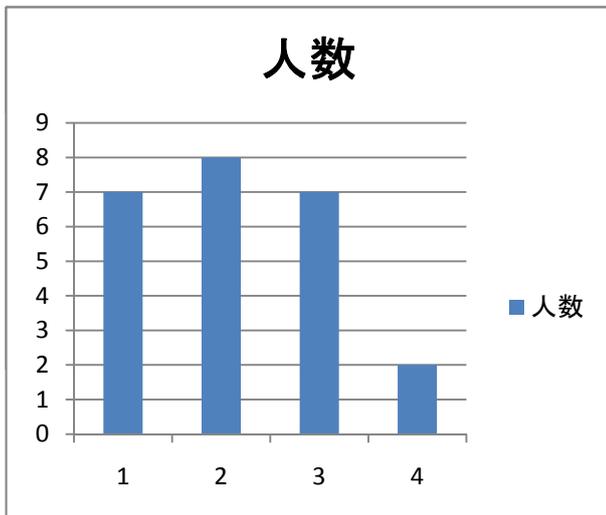
Ⅲ.研究計画

※未回答:1名

項目	人数	割合	内容
1	7	29%	Aにあてはまる。
2	8	34%	ややAに近い。
3	7	29%	ややBに近い。
4	2	8%	Bにあてはまる。

* A: 研究の計画が具体的に定まっている。

* B: 研究の計画は、まだ、具体的に定まっていない。



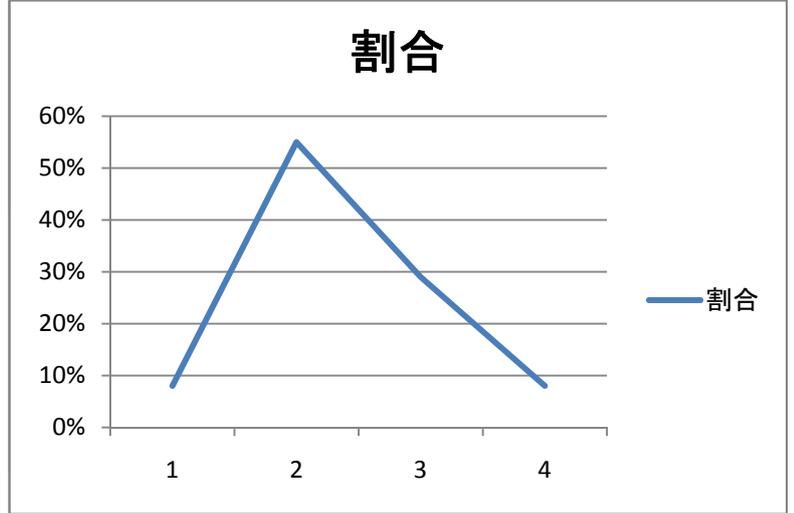
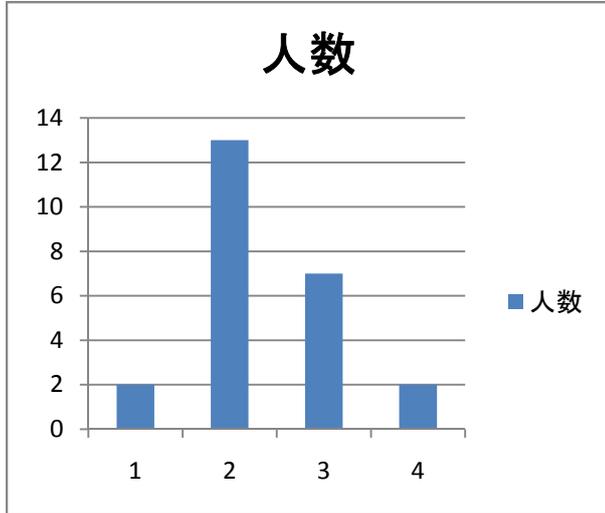
2011年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

IV. 研究内容の判断

項目	人数	割合	内容
1	2	8%	Aにあてはまる。
2	13	55%	ややAに近い。
3	7	29%	ややBに近い。
4	2	8%	Bにあてはまる。

* A: 研究を行うときには、自分自身の判断によってすすめている。

* B: 研究を行うときには、教員や先輩の指示に頼っている。



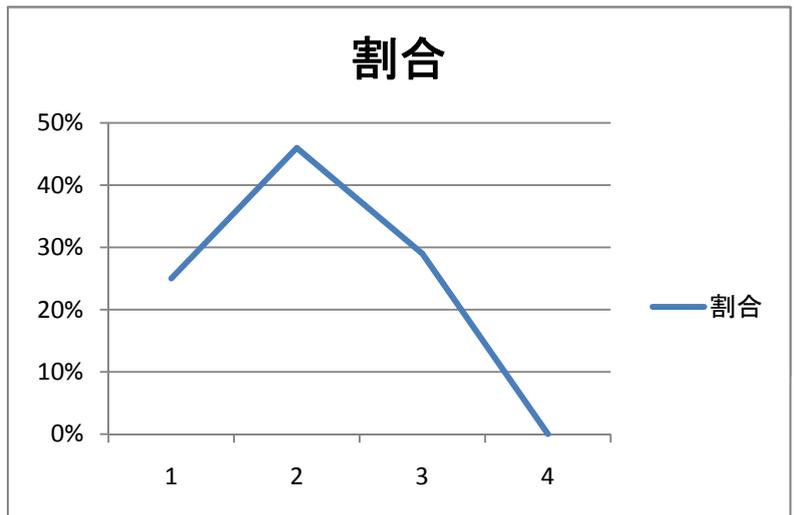
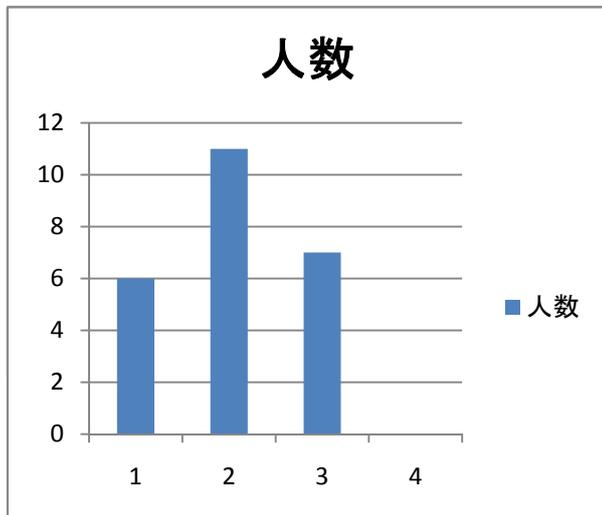
V. 他者の意見

※未回答: 1名

項目	人数	割合	内容
1	6	25%	Aにあてはまる。
2	11	46%	ややAに近い。
3	7	29%	ややBに近い。
4	0	0%	Bにあてはまる。

* A: 他者(学内の教員、先輩)に意見をもらう機会を自分で作る。

* B: 意見をもらう機会是他者が設定してくれる。



2011年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

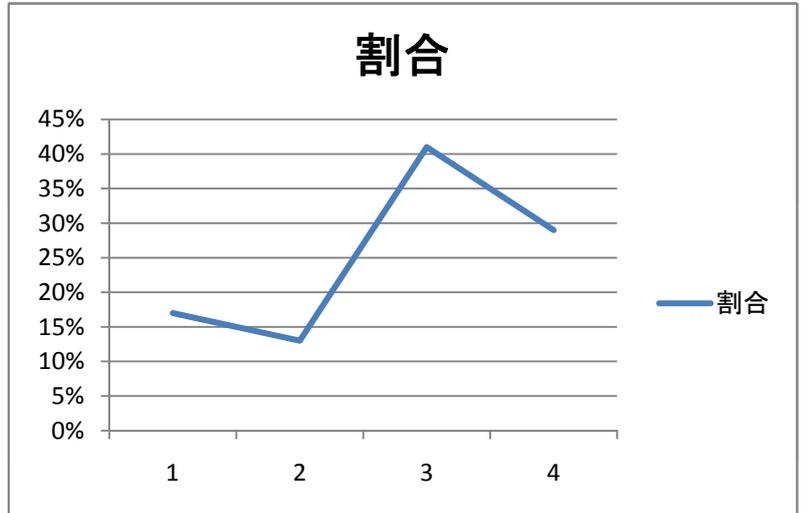
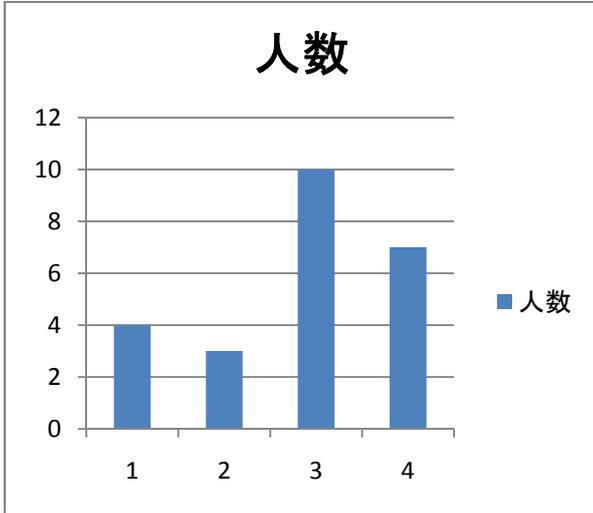
VI.学外の研究者

※未回答:1名

項目	人数	割合	内容
1	4	17%	Aにあてはまる。
2	3	13%	ややAに近い。
3	10	41%	ややBに近い。
4	7	29%	Bにあてはまる。

* A:学外の研究者と積極的に交流している。

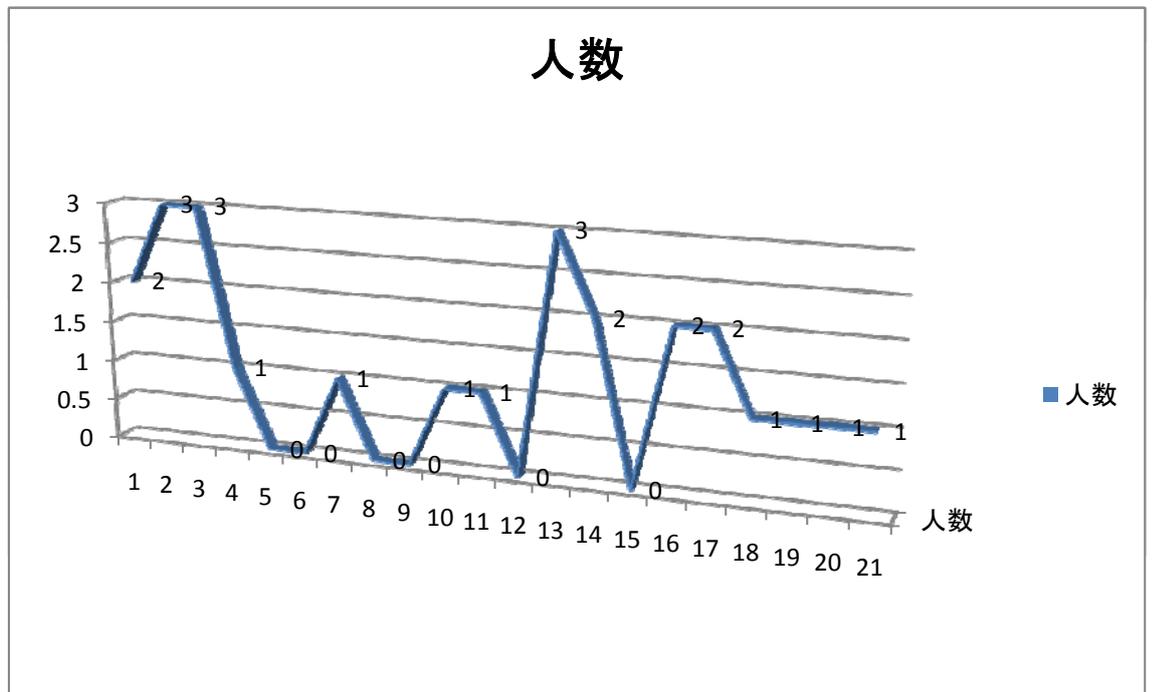
* B:学外の研究者との交流は少ない。



5.大学院開講科目について

①履修科目数

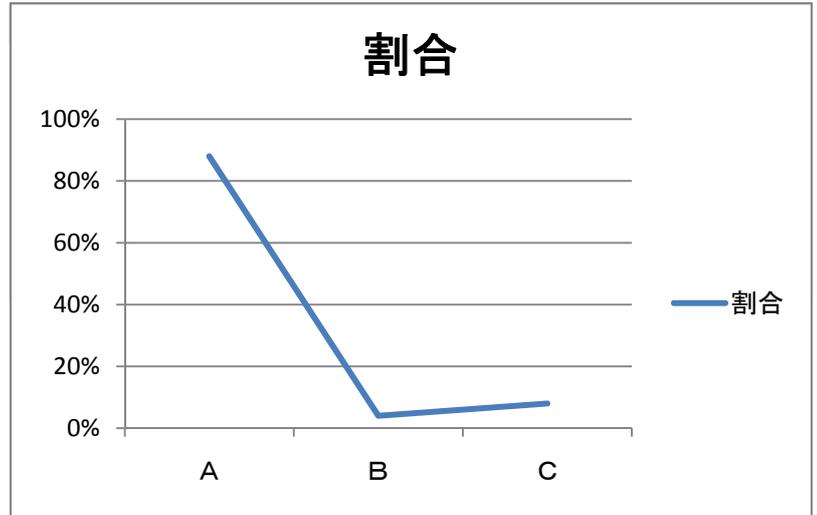
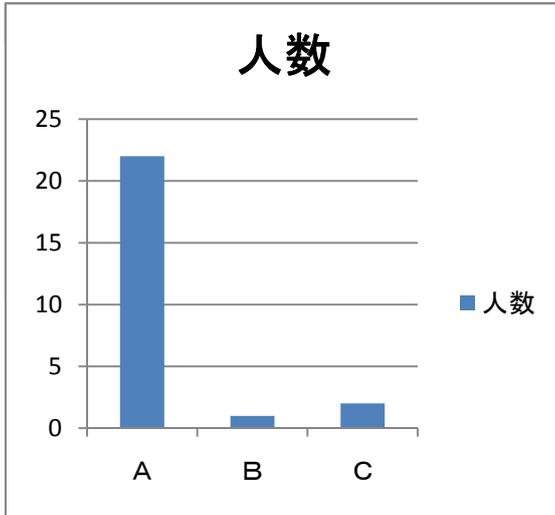
履修科目数	人数
0	2
1	3
2	3
3	1
4	0
5	0
6	1
7	0
8	0
9	1
10	1
11	0
12	3
13	2
14	0
15	2
16	2
17	1
18	1
19	1
20	1



2011年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

②役立つ科目

項目	人数	割合	内容
A	22	88%	ある
B	1	4%	ない
C	2	8%	科目の履修はしていない



②-2 科目名

地文M1	老年健康科学特論
地文M1	社会学研究法、家族社会学特論Ⅰ、比較文化特論Ⅱ
地文M1	日本古典文学特論ⅠA・ⅠB、南島言語文化特論
地文M1	国語教育学特論
地文M1	臨床心理ケースカンファレンス
地文M1	臨床心理学特殊研究、心理学研究特論
地文M1	臨床心理学特論、心理査定
地文M1	英語教育特論
地文M1	9科目全て
地文M1	南島民俗、東アジア文化人類学、考古学特論、南島史学
地文M1	心理学研究法特論、心理統計法特論、その他ほとんどの科目
地文M1	植民地社会特論、特殊研究、英米演劇、高等英語表現法
地文M2	ゼミ
地文M2	日本古典文学特論ⅠB
地文M2	英米文化特論
法学M1	税法、商法、行政法、憲法
法学M1	税法特論、税法特殊講義
法学M2	行政法特論Ⅱ
法学M2	税法、憲法、行政法
法学M2	税法学研究
法学M2	憲法特論

2011年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

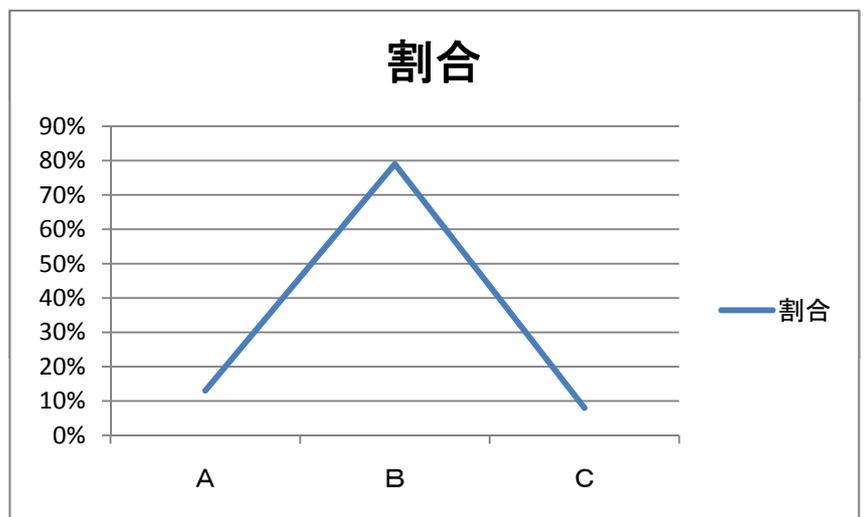
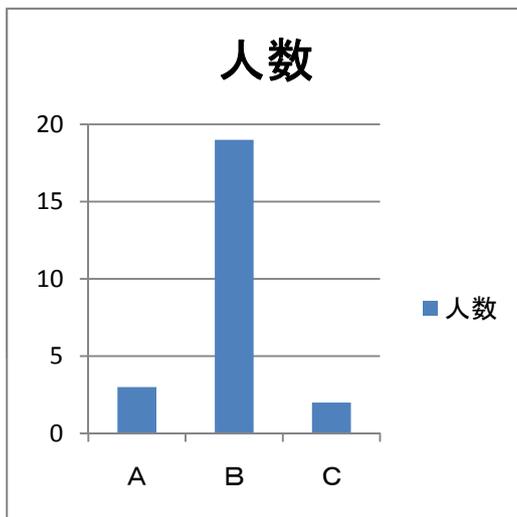
②-3 どのような点が役立つと思ったか

地文M1	高齢者に対する理解を深めることができた。
地文M1	社会学の理論的な分野が学部時代から不十分だったため、勉強になった。また、概念や理論など毎回の講義が文献を読んでの発表形式だったため、自分で内容をつかむため必死になって挑むことができたので、本当にためになったと考える。
地文M1	・担当教員の専門的な知識を学べる点。 ・履修している院生の古典作品への感想や意見を聞くことで、多角的な視点が得られる点。
地文M1	国語教育の一領域を修論で扱いたいと思っているため、その領域、またその領域と他領域がどのように関わっているかが学べるため。
地文M1	実際のケースについて、その場で先生方の意見が聞け、自分の考えも発言できるので、実習として多いに役立つ。
地文M1	研究のための科目であり、内容も研究にまつわるものだから。
地文M1	基本的な知識を得られたところ。
地文M1	英語教育法のアプローチの仕方。
地文M1	自分の知らない事を学ぶという点において、全ての科目が役に立つものである。そもそも役に立つという考え方がやや気になる。役に立てるものである。
地文M1	研究方法、分類の仕方、視点の向け方など、学ぶものがたくさんあった。
地文M1	心理学研究法特論：修士論文の執筆に活かすことができる。 心理統計法特論：修士論文のための分析のことがわかった。 その他ほとんどの科目：心理臨床の考え方がたくさん学べた。
地文M1	自分の研究につながる発見が多いから。
地文M2	古典文学について、これまでとは違った視点から学習できる。 古典の基礎知識の確認ができ、作品や古典文学全体から見えてくる時代背景なども知ることができる。 単に作品を読むだけではなく、古典についての論文などにも触れられる。 上記のことから、将来古典を教える立場になった際、大変役立つ授業だと考えている。
地文M2	自分が研究している課題をもっと歴史・文化などの資料や背景を増加しました。
法学M1	私は、税法に関する論文を作成する予定です。これに関連して、基礎的な知識として必要になっています。
法学M1	修論についての「問題点の洗い出し」や「理論構成」等、なぜそうなるのか根拠を含めて徹底して学べる。
法学M2	行政に関する手続関係等、専門分野の知識が得られたことで、仕事の内容に直接役立つと思いました。

③改善科目

※未回答：1名

項目	人数	割合	内容
A	3	13%	ある
B	19	79%	ない
C	2	8%	科目の履修はしていない



③-2 科目名

地文M1	近現代日本文学
法学M1	税法を学びにきたので、税法ゼミが欲しい。

③-3 どのような点を改善した方が良かったか

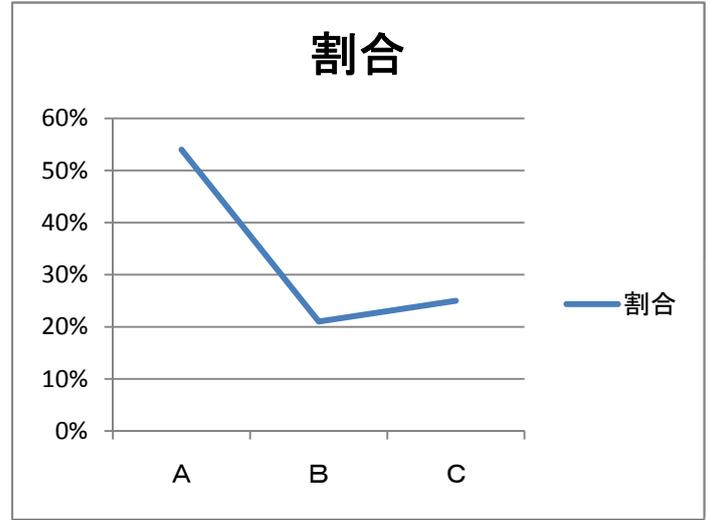
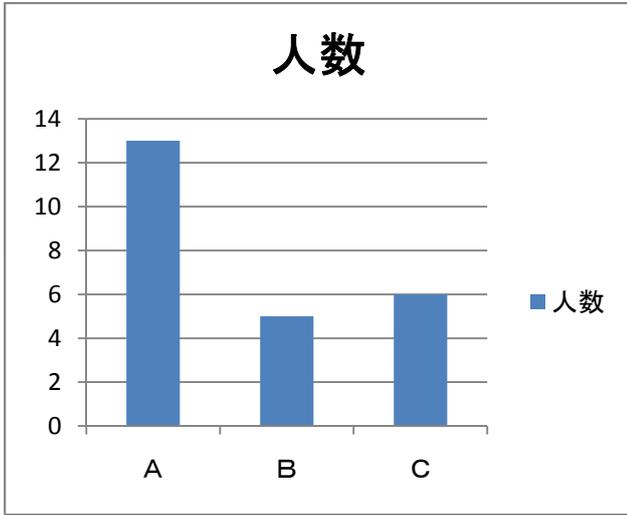
地文M1	教員の態度がひどい。
------	------------

2011年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

6.指導体制・環境

①指導体制・研究環境に関する満足度 ※未回答:1名

項目	人数	割合	内容
A	13	54%	満足している
B	5	21%	満足していない
C	6	25%	どちらでもない



②満足できない理由

* B回答者のみ回答

地文M1	社会人のために夜間開講をしているが、言語領域の場合、学部からの持ち上がりであるため、逆に夜間(特に7限)の講義は厳しい。夜間のメリット・デメリットがある。学生と教員の間でゆるやかに調整できたらいいかと思う。
地文M1	教員が忙しそうであり、気をつかってしまう。
地文M2	もっとクラスメイトがほしいです。討論は指導教員だけではなく、同等生といろいろ話し合っ、お互いBrainstormingしたいです。
地産M2	各先生が指導する時、研究に関する標準、難しさは違いますので、自分が指導を受ける時、困りました。

③入学前オリエンテーション実施の有無 ※未回答:1名

項目	人数	割合	内容
A	14	58%	あった方が良く
B	4	17%	無くても良い
C	6	25%	どちらでも良い

2011年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

④指導体制、方法、研究環境に関する意見・要望

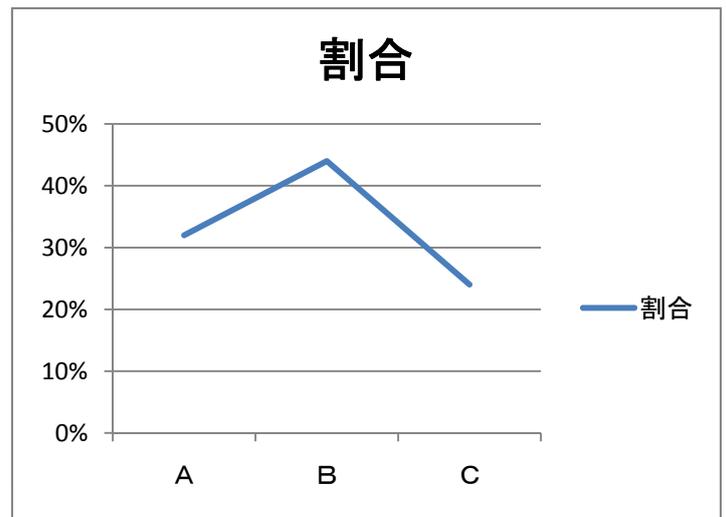
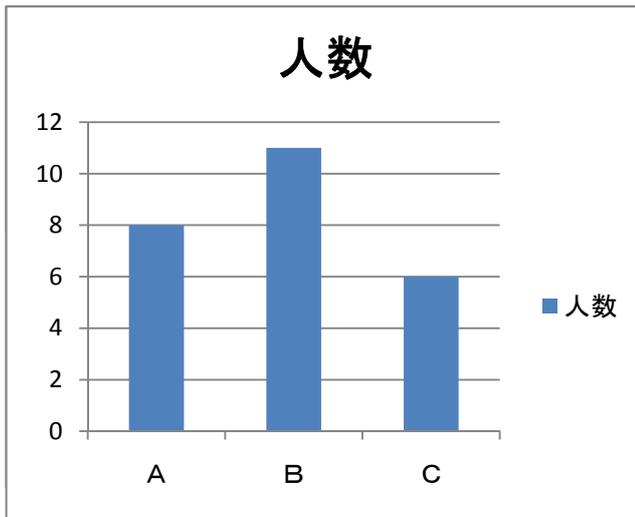
地文M1	大学院3階の図書資料室をもっと自由に使えたら嬉しいです。
地文M1	実際の終了までの具体的な流れなどを知れるとよい。
地文M1	指導教員が特殊研究の講義をもっていないということが、往々にしてあるので改善してほしいと思う。
地文M1	あまり個々の学生をみていない気がする。M1全員で、ということが多い。
法学M1	井端先生、石島先生、加藤先生、末崎先生、前津先生、脇阪先生の講義はとってもためになり、楽しく授業を受けています。皆様、熱心に授業を行っているとは私は思っています。

7.施設・設備

※未回答:1名

①大学院の施設・設備に関する満足度

項目	人数	割合	内容
A	8	32%	満足している
B	11	44%	満足していない
C	6	24%	どちらでもない



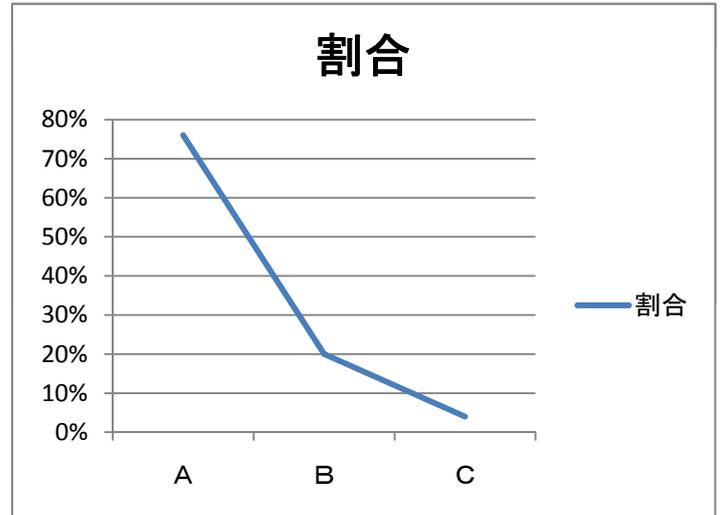
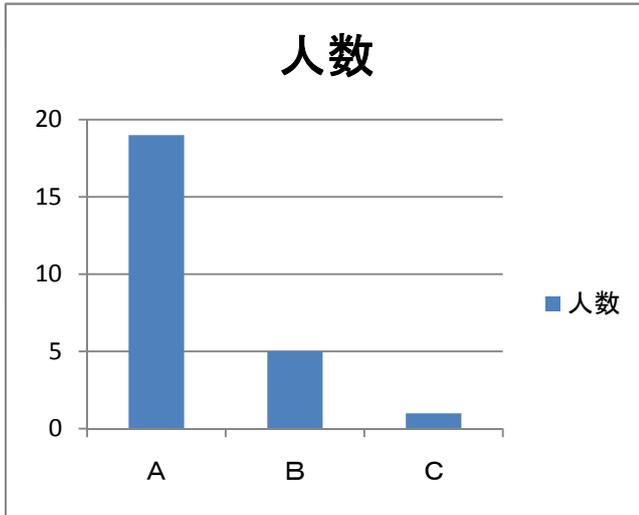
②満足できない理由

地文M1	大部屋でも良いが、個人の机とパソコンといったスペースが欲しい。集中するために。
地文M1	大学院のPCが、できれば2007になってもらえると、論文作成で使いやすと思う。この1点のみ、不便です。現在、図書館の個室を使用することが多いです。
地文M1	たまに学部生が6階の教室を利用していること。
地文M1	パソコン室にあるパソコンが使いづらい。学内で最新のバージョンに統一してほしい。 資料室が本当に使いづらい。常に閉まっているということと、資料そのものが少ない。(鍵の管理を何かしら改善してほしい。) 自習室を増やしてほしい。全ての院生が利用できる状況を作って頂きたい。
地文M1	パソコン:ソフトが古い、2003ワード・エクセルでは自分のPCで作成したものが使えない。キーボードがおかしい、押しても打てない。 大学院生用の研究室、自習室などが足りない。
地文M1	地域文化研究科の研究室が今のままで良いのか疑問。使用している人と使用していない人がいて、使用している人が占領しているように思える。使用していない人が、使用しなくて大丈夫なのか、使用したいのか、知りたい。(私は使用していて満足しています。)
地文M1	PC室のPCが少ない、狭い。使いたいのに使えない。
地文M2	泊まり込みで執筆が進められないため、大学院棟だけでも琉球大学のように24時間開放にするべきだと思います。
地文M2	資料室の資料がまだまだ不足しているため。
法学M1	研究室(自習室)、パソコン室を24時間開放してほしい。
法学M2	13号館のコンピュータ室について、長方形のテーブルに4台程度のコンピュータがそれぞれ設置されているが、1台毎に目隠し程度のパーテーション等に区切って、隣を意識せずに集中できる環境があると良い。

2011年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

③大学内設備の利用状況

項目	人数	割合	内容
A	19	76%	よく利用している
B	5	20%	たまに利用している
C	1	4%	全く利用していない



④大学院の施設・設備に関する意見・要望

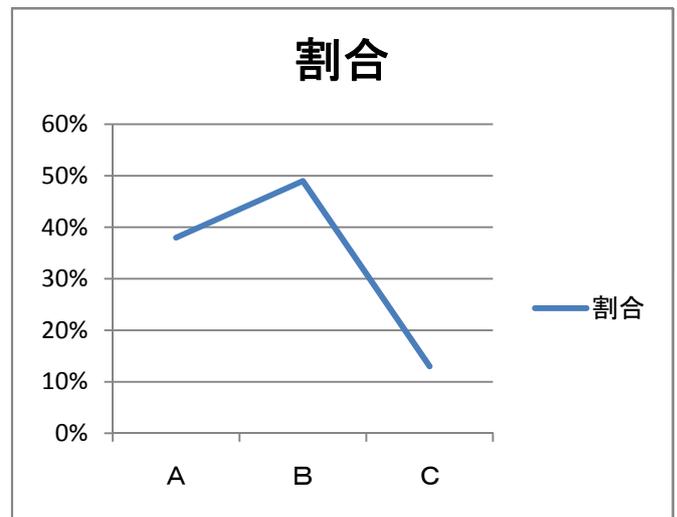
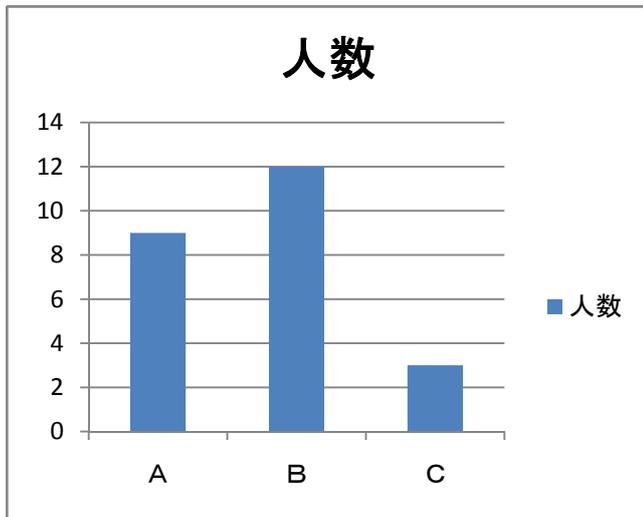
地文M1	地域文化の部屋が狭いので、2つに分けて欲しい。物置きになっている部屋を提供してほしい。
地文M1	・警備員によって共同研究室(13-605)や資料閲覧室の開く時間が異なるため、統一して欲しい。 ・共同研究室のパソコンを新しくする、もしくはメンテナンスを徹底して欲しい。
地文M1	大学院の地域文化研究科の人数が多く、院生室の席の数が足りないように思います。
地文M1	PCの調子のよくないことがある。
地文M1	地域文化の人数に対して研究室が狭い。
地文M1	トイレに温かい便座とウォシュレットを取り付けてほしい。冬場つらいので。
地文M1	・大学院棟の教室のAV機器を新しいものにしてください。 ・パソコン: 調子の悪いパソコンが多すぎます。修理に時間がかかりすぎます。改善してください。 ・大学院生の使える自習室(研究室)を増やしてください。
地文M1	PC室を本当にどうにかしてほしいです。コピーし過ぎて怒られました。ダメなんですか？
地文M2	研究室が共同のため、使用しづらかったです。1人1つずつ、机を与えるべきだと思います。
法学M1	パソコン教室のパソコンを新しいのにしてほしい。
法学M1	パソコンがよくフリーズする。キーボードの調子も悪い。
法学M2	研究個室から直接3階のプリンターに出力指示が出来ると便利だと思いました。
法学M2	図書館の本の貸出しが、卒業年の2月10日までとされているが、せめて最終試験が終わり、修論の提出期限(3月1日)頃までに延長してもらいたいです。

2011年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

8.教育支援者(TA・SA)制度

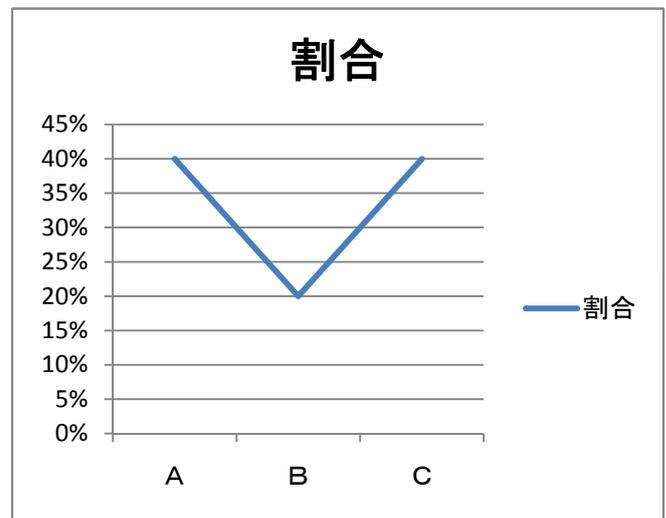
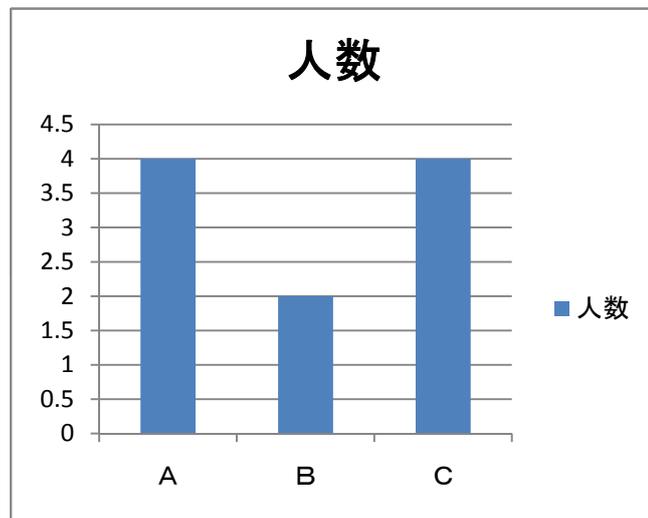
①教育支援者(TA・SA)制度の活動状況 ※未回答:1名

項目	人数	割合	内容
A	9	38%	行っています
B	12	49%	行っていません
C	3	13%	過去に経験があります



②教育支援者(TA・SA)制度の継続について(M1のみ回答)

項目	人数	割合	内容
A	4	40%	続けたい
B	2	20%	続けたくない
C	4	40%	どちらでもない



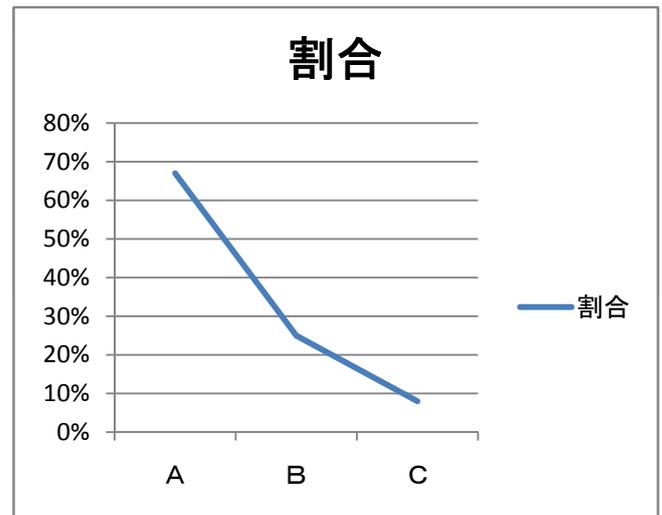
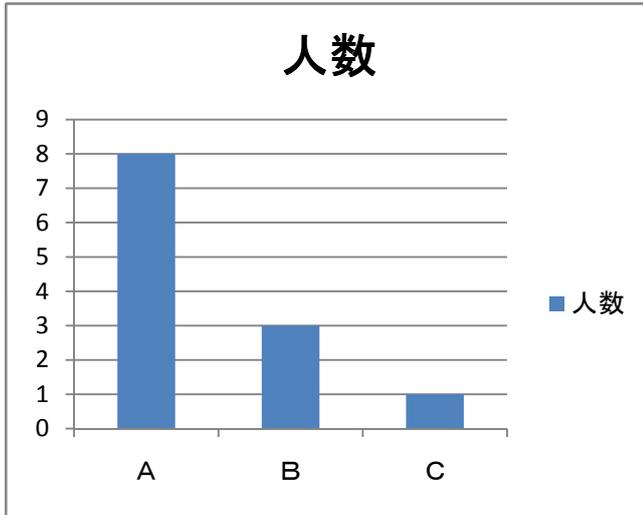
③②の理由

地文M1	研究に集中したいから。(C)
地文M1	TAIに挑むための下準備がかなり時間を使うため、来年は論文に集中したい。(B)
地文M1	2年になると修論や実習で忙しくなるから。(B)
地文M1	続けたいが時間がない。(C)
地文M1	将来の職業に役立つと思うから。(A)
地文M1	TAの内容、時間の都合が合えばと思うので。(C)
地文M1	学部の学生と話す機会となるから。(A)
地文M1	自分の為にも、今の学部生の為にも。(A)
法学M1	より集中的に専門的な知識を学ぶことになるし、生徒の視点で質問がくるので、違った点が発見できるから。

2011年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

④教育支援者(TA)を経験したいか(教育支援者経験の無い方への質問)

項目	人数	割合	内容
A	8	67%	してみたい
B	3	25%	してみたくない
C	1	8%	どちらでもない



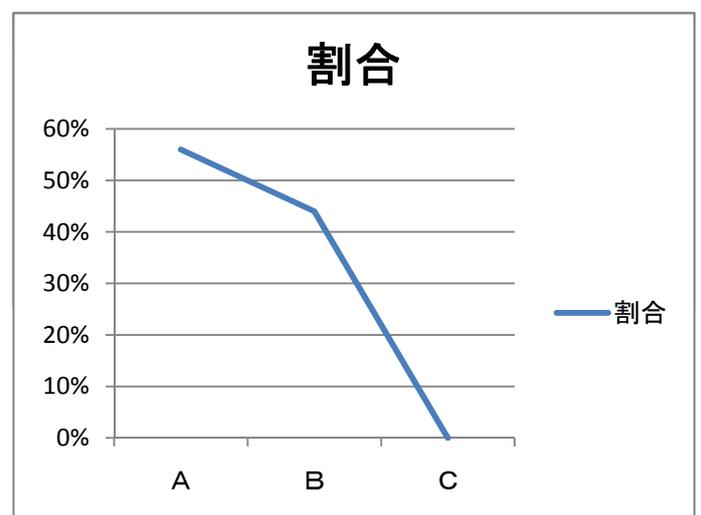
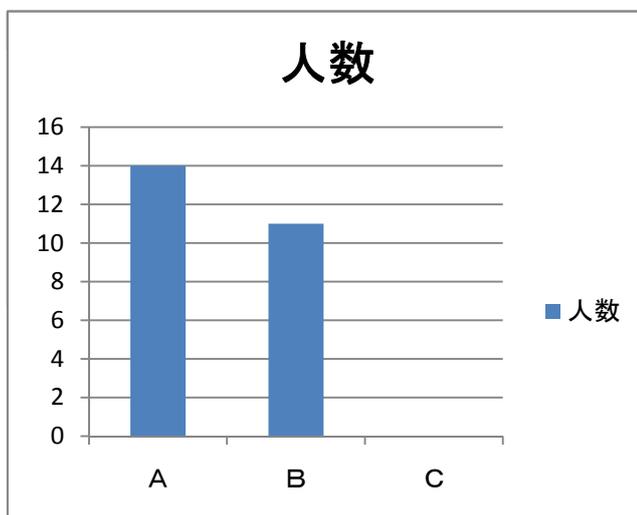
⑤④の理由

地文M1	将来教師を目指しており、教育支援者(TA)経験はたいへん貴重なものになると思うため。(A)
地文M1	将来教員になりたいため、大学の教授の指導の仕方などを学びたい。(A)
地文M1	TAで学べることもあると思うので。(A)
地文M1	先輩がTAをやっていたのを見て、同じようにTAをやりたいと思ったから。(A)
地文M1	自分から学んだものを実際に言ってみたい。教えながら自分が見えない部分もいっぱい出てくるから。(A)
地産M1	経済的な負担がある。アルバイトしながら、学校とのつながりを深める。(A)
法学M1	教育支援者のための時間の確保が困難なため。(B)
法学M2	今更望めませんが、論理的な思考を身につけることができる(実践できる?)(A)
法学M2	特に考えたことはありません。(C)

9.本学に付置している研究所について

①本学にある4つの研究所を知っているか

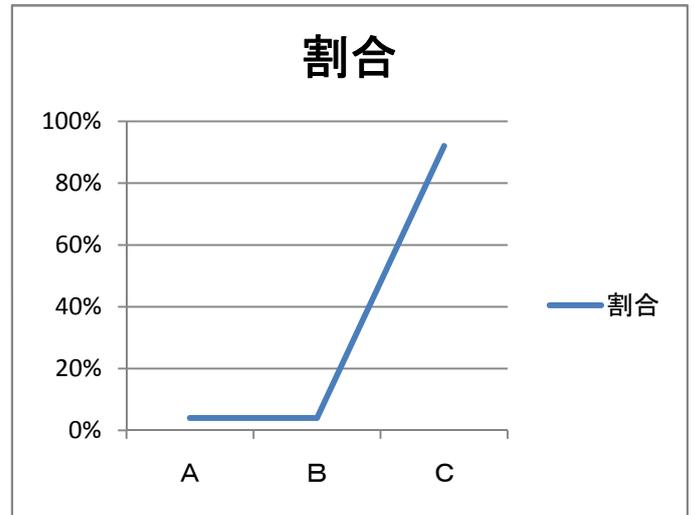
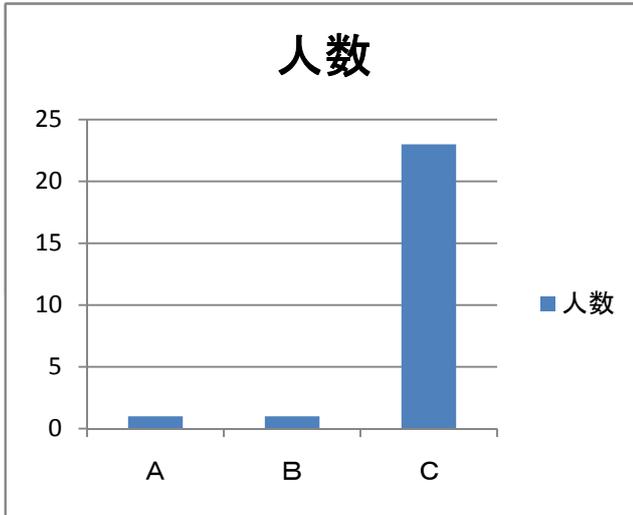
項目	人数	割合	内容
A	14	56%	知っている
B	11	44%	知らない
C	0	0%	興味がない



2011年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

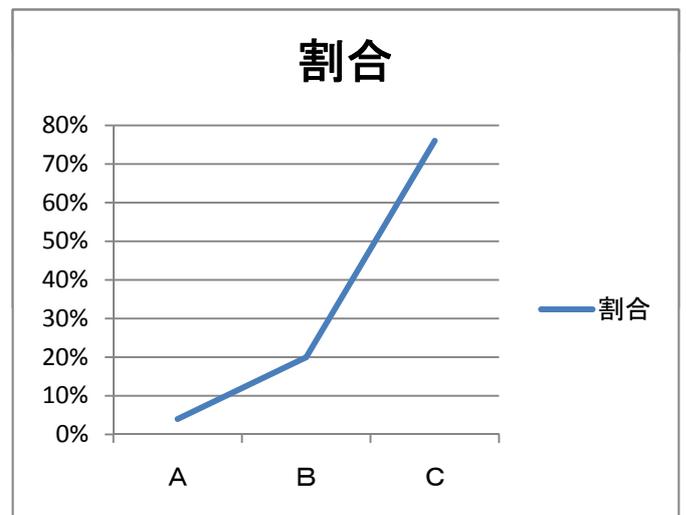
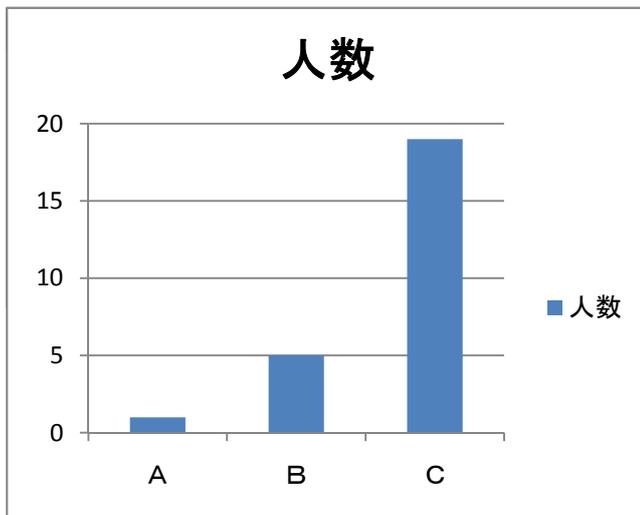
②研究所の利用状況

項目	人数	割合	内容
A	1	4%	よく利用している
B	1	4%	たまに利用している
C	23	92%	全く利用していない



③研究所が主催する「研究会」などのイベントの参加状況

項目	人数	割合	内容
A	1	4%	よく参加している
B	5	20%	たまに参加している
C	19	76%	全く参加していない



2011年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

10.その他の意見・要望

地文M1	大学院の授業は6校目以降に授業が密集しているため、1週間の調整期間だけだと、かぶってしまっているコマの授業が比較体験できないので、2週間にしてもらえらるともっと授業を幅広く受けることができるのではないのでしょうか。
地文M1	<ul style="list-style-type: none"> ・13号館のエレベーター前のベンチで、学部生らしき人が食事をしていることが気になる。悪い行為ではないが、あまり良い印象は与えない行為だと思う。 ・基本的に院の講義は、13号館の6階か5階で行って欲しい。 ・大学院への進学を希望している学生に、院の講義を見学する機会を設ける。(学部生の頃、院生がどこでどのような研究をしているか分からず不安を抱いたため。) ・各専攻の専門書を図書館にではなく、資料閲覧室に置いて欲しい。
地文M1	ロッカーの借用可能台数が2つになりました。とても便利です。ありがとうございます。 教室の管理が厳しくなっているようですが、授業で使う教室が閉まっていたこともあったので、少し困りました。
地文M1	<p>資質向上のためにいろいろご検討くださり、ありがとうございます。</p> <p>少し趣旨とは離れるかもしれませんが、13号館にて、学部生らしき学生を見かけることがあり、気になります。使っていない教室だから、入るのはいいのかもしれませんが、食事をとっていたりするのを見かけます。落ち着かない感じがします。</p>
地文M1	<ul style="list-style-type: none"> ・このアンケートの内容をぜひ反映してほしい。 ・心理相談室の紀要原稿の締め切りと、修論の提出期限をずらしてほしい。 ・M1全員でひとつとしてみられていて、どうしていいか、戸惑った。個々の学生をみてほしい。それぞれの力をみて伸ばしてほしい。 ・バイト(TAを含む)がしやすい環境がほしい。教員の中にはTAを快く思っていない先生がいるようだった。 ・13号館6階で学部の授業があった(?)のは不思議だった。 ・学務課、教学課の職員の方々の対応が親切でありがたかった。
地文M2	修論提出の一週間前だけでも、棟の開館時間が延長されると助かります。(自宅にPCがない為) 論文作成中、PCがフリーズしたり、キーボードが本体と接触不良を起こしていたりと、時折不具合が生じますので、月に1度でも定期的にメンテナンスをして頂けると大いに助かります。
地文M2	大学院棟の24時間開放の件と、1人一個の机が必要だという意見は、多くの院生がずっと要望として挙げてきていることなので、難しいとは思いますが、再検討よろしくお願ひします。
地文M2	<ul style="list-style-type: none"> ・資料室の施錠について 貴重な資料もあるため、施錠をするのは分かりますが、夏休み頃から急に鍵がかかったため、困ったこともありました。可能ならば、このような事は事前に通知をいただければ幸いです。 ・日曜日・祝日の駐車場について 日曜日・祝祭日も学校に行き、作業を行っていましたが、軽専用の第2駐車場の誘導がなされていないことがあります。(特に何らかの試験がある日)。学外の方は駐車場の事情が分からない方が多いと思いますので、普通車はできるだけ第2駐車場に入れたいよう誘導していただきたい。 ・研究用フリーソフトの使用 大学院棟のパソコンに入っていないフリーのGISソフトがあり、メモリーからは開くことができませんでした。(他のパソコン室に入っている箇所:5号館パソコン室、経済学の研究室など) 大学院棟のパソコン室にもインストールした方が、講義の面でも都合が良いと思います。※MANDARA、カシミール3DなどのGISソフトです。
地産M1	副専攻の設置は検討してほしいです。専攻と関わりがある授業をもっと多めに入れた方がいいと思います。
法学M1	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院用の駐車場がほしい 全員分とは言わないが、10~15くらいは確保してほしい。学祭期間も講義はあるのに、駐車できないのはおかしいのでは? 昼間の授業があると大変。 ・集中講義の日程 今年度だけかもしれませんが、集中講義の日程が重なっていて、物理的に履修できなかった。 ・研究室の24時間開放